

# 名前【 】

① 環太平洋連携協定(TPP)をにらみ、農林水産品の品質向上の取り組みが広がっています。共同通信社が実施した自治体アンケートで、TPP対策として「販路拡大」など積極的な取り組みをあげた自治体の数はいくつで、何品目になりますか？

② 兵庫県内の自治体では、どこがどんな品目の輸出拡大に力を入れていますか？

自治体名	品名

③ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

NIEワークシート／中学校～高校／社会、総合、朝NIE

## 農林水産品

# TPPにらみ品質強化

## 輸出増へ自治体が支援拡大

環太平洋連携協定(TPP)をにらみ、70市町村が約40品目の品質向上を進めている。兵庫県内では、神戸市がブランド牛「神戸ビーフ」、豊岡市は無農薬米「コウノトリ育むお米」、伊丹市は日本酒の輸出拡大に力を入れている。一方で人手不足や輸出先の残留農薬規制などの壁も浮上、政府が提唱する「攻めの農業」の課題となりそうだ。

和歌山、愛媛、静岡各県のミカン産地は、糖度の高い品種の開発や検査を徹底し、アジアや北米への輸出に取り組む。四国で作るユズはフランスで人気、茶の産地は輸出先の農業や検疫への対応を進めている。山梨、長野両県は高級ワイン造りと結びつけたブドウ栽培の長中だ。

各地で広がっている。地元自治体が品種改良や品質検査などを支援しているケースも多々、地域を挙げて外国産に対抗、輸出にも活路を見いだす狙いだ。

昨年10月のTPP大筋合意を受け、共同通信が直後に実施した全自治体アンケートで、TPP対策として「販路拡大」など積極的な取り組みを挙げた自治

### 輸出に向けた取り組みが進められている農林水産品の例

産品	取り組み	主な輸出先
 コメ	コウノトリ育むお米などブランド米が競う。農薬や化学肥料を極力減らす栽培進む	アジア一円、欧米
 ミカン	品種改良や完熟栽培で糖度高める。自治体独自の品質審査も。栽培法や貯蔵技術の向上で出荷期間を拡大	香港、台湾、シンガポール、タイ、欧州
 茶	「宇治茶」など高級茶をPR。輸出先の残留農薬規制や検疫対策進む。農薬の空中散布の禁止や有機栽培も	台湾、香港、英国、オーストラリア、北米、ロシア
 野菜・葉草	北海道十勝地方は長芋などを「十勝ブランド」。京都は「京野菜」をブランド化。ニンジンを、薬草も自治体主導で特産に	台湾、米国、欧州
 養殖魚	ブランドのブリ、カンパチの輸出促進	シンガポール、インドネシア、オーストラリア、米国
 木材	長崎の「対馬ひのき」、大分の「さいいき杉」は高級ブランドに	中国、韓国